

21個人を表彰

人の功労をたたえる

篤志寄付者へは感謝状を贈呈

町の「平成11年表彰の受賞者」が決定しました。この表彰は、長年にわたる町内の各分野で地道な活動を通じて、町の発展のために貢献されてきた方々の功労をたたえるもので、今年は産業功労2人、社会福祉功労9人、保健衛生功労3人、教育功労4人、消防防炎功労2人、統計功労1人の6分野にわたる21人を表彰します。

また篤志寄付をされた1人には感謝状を贈ります。なお、表彰式は平成11年1月4日の新春パーティーの席上で行われます。(受賞者の方々は次のとおりです。)



昨年の新春パーティーで表彰を受けるみなさん



食肉センター処理士組合長
鈴木 忠男氏 (運沼村)

食肉センター

発展に貢献

昭和58年処理士組合理事に就任以来、と畜解体処理業務に精励し、食肉センター発展のため大きく貢献し、現在は組合長として後進の育成などに活躍されています。

喜びの声

栄ある表彰をいただきありがとうございます。

今後も微力ではありますが、食肉センター発展のため努力したいと思います。



前そうさ農協園芸部長
向後保太郎氏 (作間内)

園芸組織の

一本化を実現

旧農協単位であった園芸生産組織の一本化を実現させ、匠瑳郡市を周年ネギ産地として築き上げられました。また、平成9年には国より春ネギの産地指定を受けるとともに、農家の経営安定基盤を築き上げるなど、町の農業振興に大きく貢献されました。

喜びの声

重みのある表彰をいただきとても光栄です。

これからも、野菜産地発展のために役立てればと思います。